

令和 7 年度 ひやりはっと集計結果 (令和 7 年 3 月～令和 8 年 2 月)

場所

- ・事業所外 1 件 (下校中 1 件)
- ・事業所内 2 件 (△の部屋 2 件)

当該者の年齢

- ・3 歳 1 件
- ・8 歳 1 件
- ・10 歳 1 件

状況

- ・転 倒 1 件
- ・送 迎 忘 れ 1 件
- ・安全点検不足 1 件

原因

- ・職員の予測・注意不足
- ・申し送り事項に関する確認不足
- ・安全確認不足

総論

今回のヒヤリハット事例は計 3 件であり、発生場所は事業所内が 2 件、事業所外が 1 件であった。事業所内ではいずれも室内の同一場所で発生しており、環境面の安全管理が共通課題として挙げられる。また、事業所外では送迎に関する事案が発生しており、人的確認体制の見直しが求められる結果となった。

当該児童の年齢は幅があり、特定の年齢層に偏ったものではなかった。発生状況としては「転倒」「送迎忘れ」「安全点検不足」と内容は異なるが、いずれの事案も重大事故には至らなかったものの、状況によっては怪我や重大なトラブルに発展する可能性を含んでいた。原因については、いずれも人的確認や事前確認の不十分さが共通して見られた。

今年度の事例からは、事故そのものよりも「起こる前の気づき」や「確認の一手間」が事故予防の鍵であることが再確認された。環境整備だけでなく、時間管理、申し送り、用具使用前の安全確認など、基本的な確認行動を組織全体で徹底することが再発防止につながると考えられる。